

病気で入退院を繰り返している青年から電話があった。「外出許可が出たから、今度、近くの教会に行ってみようと思います」。二、三日してまた電話があった。「教会に行ってきました。やっぱり教会はいいですね。イエス様が一緒にいてくれて、神様に包まれているような感じがしました。とても落ち着きました。また、行きます」▼彼は薬物依存症にかかり、長い間、苦しんでいた。昨年の復活祭に洗礼を受け、しばらく落ち着

いた生活をしていたが、また薬物を飲み、症状がひどくなった。警察にも世話になり、精神科に入院。症状が治まるにつれ

地の塩

03.6.15

て神とのかかわりを思い出し、病院で聖書を読み始めた。そして、再び教会に行こうと思ったという▼ある方から次のようなことを聞いた。「私は

洗礼を勧めないようになっている」。驚いた。「ホームレスの方や、こころの病に苦しんでいる方、また貧しく小さくされている方、社会から疎外されている方には洗礼を勧めない。洗礼を受ければ、手続き上、どこかの教会に所属しなければならぬ。その教会は彼らを受け入れますか？ 洗礼を受けなくても神はその方々と一緒におられるよ。イエスと彼の遺志を受け継いだ教会は、貧しく弱く小さくされた人々、社会から疎外された人々を受け入れ、その結果、教会はそのような人々の集まりとなった。でも、今の教会はそうではない。洗礼を受けると、教会の中でさえ、差別を受け、疎外されてしまう」▼先の青年は、祈りつつ生きている。聖書のみことばに触れながら生きている。生かされていることを感謝しながら生きている。聖堂を訪れ、そこで神との親しいかかわりを味わっている。人々の集いである教会、神はこの教会を通して人を救おうとしているのに…。(Y)